

info DRIVE ジャマガジン

Jamagazine

Japan Automobile

Manufacturers Association

日本自動車工業会 広報誌

JAMA vol.53
2019
[March]

月号
3

巻頭インタビュー

村田 浩一

「新しい市場開拓のバーチャルの『eモータースポーツ』がリアルに迫る」

一般社団法人 日本自動車連盟(JAF) モータースポーツ部 部長

ジャパンキャンピングカーショー2019

自動車博物館関連施設紹介シリーズ

日産自動車/日産ヘリテージコレクション



JAMA

一般社団法人 日本自動車工業会



2019年3月自動車関連イベント




 は二輪レース
 は四輪レース

国内主要イベント

日時	場所	名称
3月 2-3日	三重県 鈴鹿サーキット	モースポフェス2019 SUZUKA~モータースポーツファン感謝デー~
13-15日	東京都 東京ビッグサイト	第17回 国際オートアフターマーケットEXPO 2019
15-17日	大阪府 インテックス大阪	第35回 大阪モーターサイクルショー2019
22-24日	東京都 東京ビッグサイト	第46回 東京モーターサイクルショー2019

国内モータースポーツ

日時	場所	名称
3月 15-17日	愛知県 新城市	 全日本ラリー選手権 第2戦 新城ラリー2019
24日	三重県 鈴鹿サーキット	 スーパー耐久 第1戦
24日	広島県 テージャスランチ	 全日本エンデューロ選手権 第1戦

海外モーターショー/主要イベント

日時	場所	名称
3月 1-3日	ベルギー アントワープ	アントワープ クラシック サロン
7-17日	スイス ジュネーブ	ジュネーブモーターショー
9-11日	カナダ トロント	モトラマカスタムカー&モータースポーツエキスポ

海外モータースポーツ

日時	場所	名称
3月 3日	アルゼンチン パタゴニアアレーストラック	 モトクロス世界選手権 第1戦
7-10日	メキシコ レオン	 WRC 第3戦 ラリーメキシコ
10日	アメリカ セント・ピーターズパーク	 インディーカーシリーズ 第1戦
10日	中国 香港	 FORMULA-E 第5戦 香港E-PRIX
10日	カタール ロサイル・インターナショナル・サーキット	 Moto GP 第1戦カタールGP
15日	アメリカ セプリング・インターナショナルレースウェイ	 WEC 第6戦 セプリング1000マイル
23日	中国 三亜	 FORMULA-E 第6戦 三亜E-PRIX
24日	イギリス ウインチェスター	 モトクロス世界選手権 第2戦
24日	アメリカ サーキット・オブ・ジ・アメリカズ	 インディーカーシリーズ 第2戦
25日	タイ チャン・インターナショナルサーキット	 ワールドスーパーバイク選手権 第2戦
28-31日	フランス バスティア	 WRC 第4戦 ラリーフランス
31日	アルゼンチン アウトロー・ホテルマステリオ・オンド	 Moto GP 第2戦アルゼンチンGP
31日	オランダ ユーロサーキット	 モトクロス世界選手権 第3戦

JAMAGAZINE 2019年 3月号

発行日 平成31年2月28日
 発行人 一般社団法人 日本自動車工業会
 発行所 一般社団法人 日本自動車工業会
 〒105-0012 東京都港区芝大門 1丁目 1番 30号 日本自動車会館
 広報室 kouho2@mta.jama.or.jp

©禁無断転載：一般社団法人 日本自動車工業会



02

巻頭インタビュー

一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)

モータースポーツ部 部長 村田 浩一氏

「新しい市場開拓」バーチャルの
『eモータースポーツ』がリアルに迫る」

08

ジャパンキャンピングカーショー2019

10

自工会企画部会・WG

「天皇陛下御在位三十年記念 2019ジャパン
パラゴールボール競技大会」観戦

12

デジタルエンジニアリングセミナー2019

14

平成30年度

安全優良職長厚生労働大臣顕彰

15

「道路ふれあい月間」推進標語を募集します!!

16

自動車博物館関連施設シリーズ

日産自動車/日産ヘリテージコレクション

17

記者の窓

「あの頃の悪夢と大発見」

産経新聞社 高橋 寛次

1 2 一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)
モータースポーツ部 部長 村田 浩一氏

3 ジャパンキャンピングカーショー2019

4 「天皇陛下御在位三十年記念 2019ジャパン パラゴールボール競技大会」観戦

5 日産自動車/日産ヘリテージコレクション

●JAMAGAZINEは自工会WEBサイトからもご覧いただけます

[www.jama.or.jp/lib/
jamagazine/index.html](http://www.jama.or.jp/lib/jamagazine/index.html)





一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)
モータースポーツ部 部長

むら た こう いち
村田 浩一氏

聞く

の世界の、
本格的な
ツが普及・浸透
のクルマ離れ”に歯止め

“新しい市場開拓”バーチャルの「eモータースポーツ」はリアルに迫る

新しいジャンルのモータースポーツが育っています。デジタルテクノロジーの対戦型ゲームで、バーチャルですが、実際のカーレーサーになった感覚になります。現在、「eモータースポーツ」、「デジタルモータースポーツ」などと呼ばれ、インターネットでグローバルに結ばれ、現役レーサーも出場しています。昨年10月に東京モーターフェス(自工会主催)にて「FIA^(※1)グランツーリスモ^(※2)チャンピオンシップ ネイションズカップ アジア・オセアニア選手権」が開催され、会場のMEGA WEBはリアルな映像と迫力あるサウンドでサーキットさながらの雰囲気にもまれていました。一方で「eスポーツ」市場の拡大に向けては、誰でも参加できるだけに、国際的な競技ルールや正式な運営体制の整備などが求められています。この「eスポーツ」の熱気が「若者のクルマ離れ」に歯止めをかけるのではないかと、自動車業界も注目しています。

※1 国際自動車連盟。世界各国の自動車クラブ・団体により構成される非営利の国際機関。本部はフランス・パリ。会長はジャン・トッド氏。

※2 グランツーリスモスポーツは、ポリフォニー・デジタルが開発し、ソニー・インタラクティブエンタテインメントより2017年に発売されたプレイステーション4用のドライビングシミュレーター。

モータースポーツ
先進国で広がり
FIAで専門部署の設置

えていますか。

「eスポーツは、いろんなゲームの流れで発展してきています。FIAではeスポーツをどう捉

「まずeスポーツにおけるモータースポーツについては、今現在、統一的な呼称はなく、一般的にはeモータースポーツ、デジタルモータースポーツと言



https://www.youtube.com/watch?v=2oeZ6_RQZt0

東京モーターフェス「FIA グランツーリスモチャンピオンシップ ネイションズカップ アジアオセアニア選手権」の様子は上記QRコードまたはURLよりご覧になれます。



ヨックピットに座り、ステアリングを持ってレーサーになれます (写真提供:JAF)

バーチャル
リアルで
eスポーツ
“若者”

葉を使っていますが、
ポーツという言葉

われており、

JAFではe

モータース

ポーツという言

葉を使っていますが、

FIAも様々な呼び方をしてい

て、eモータースポーツ、eレー

スとも呼ばれています。今回、

初めてFIAで正式に設置さ

れるのが「デジタルモータース

ポーツ・ウィンググループ」と

いう名称になりました。実はほ

かにも呼称がいろいろあって、

ドイツでは「シムレース」、「デ

ジタルレース」など様々です。

なぜかという点、また各国でJ

AFも含めて、共通憲章という

か、共通の規則とかガイドライ

ンが存在していないためです」

「確かに2017年からFIA

は「グランツーリスモスポー

ツ」とのパートナーシップを通

じて、eスポーツの世界選手権、

「FIA認定グランツーリスモ

選手権」を行いました。各地区

の協力ASN(※3)はドイツのD

MSB(※4)、アメリカのACCUS

S(※5)、日本はJAF、この3つ

の国のASNがFIAとともに

協力しましたが、共通憲章が採

扱されていないので、呼称もバ
ラバラです。日本でもまだ統一
呼称にはなっていないというこ
とです」

3原則を基本に

東京モーターフェスで

eサーキット開催

「FIAは世界的な団体とつな
がりがありますか。」

「FIAの説明によりますと、

特定のところでFIAが関係し

ているのは現在では唯一、IOC

(国際オリンピック委員会)で

す。eモータースポーツに関し

ての原則は3つ。eスポーツ、e

モータースポーツは、「男女共同

参画の推進ができる」こと。ジェ

ンダー、性別が関係ないところ

がひとつある。次いで「ディスアビ

リティーの人でも、「身体に不自

由な方でも容易にアクセスで

きる」。もう一つは、いわゆるe

モータースポーツであっても、リ

アルコンベンティション、リアルス

ポーツと同じような、「スポーツ

の教育、エデュケーションがで

きる」ことです。IOCのバツハ会

長はFIAのトッド会長に対し

て、その3つの原則に基づいてe
モータースポーツも促進してい
くべきだろうと、話されたよう
です。この原則に基づき、FIA
もこれから着手していくところ
だと思っています」

「もう一つ、結局FIAは旗

を振る役目があっても、実際に

FIAでライセンスを発給しま

せんので、加盟している世界各

国のJAFのようなモータース

ポーツの統轄団体が発給する

わけですね。FIAは旗を振っ

て、各国のASNにeモーター

スポーツの導入を促進させて、

ドライバーではなく今はブレ

イヤーといっていますが、参加す

るプレイヤーたちにライセンス

を発給させて、世界のモーター

スポーツをリアルとデジタルの

両方で促進していくと考えて

います」

※3 (Authority Sport Nationale)
FIAが認めた世界各国のモータースポーツ統轄団体の総称。日本ではJAFが該当。

※4 ドイツモータースポーツ連盟。ドイツのASN

※5 アメリカ自動車競技委員会。アメリカのASN



「FIAがeモータースポーツの普及に力を入れた場合、FIAが中心に各国ASNの個々のレギュレーション、共通規則などをまとめる。

「そうです。これからです」

「昨年ネーションズカップ、リージョンカップ、東京モーターフェスでeサーキットなどが開かれました。活動元年のような位置付けと捉えますか。」

「そういう意味ではそうですね。ただ、あれはいわゆるシンボルイベントとして開催していき、あのイベントも実はFIAのガイドラインや規則は全くない状況でした。JAFもFIAからの説明、規則、ガイドラインはないけれども、FIA認定イベントとして開催するので、母国ASNとして協力してほしいと。ついでに、FIA、JAFのリアルスポーツ、モータースポーツの競技経験者というところで、元レーシングドライバーの飯田章さんを審査員役で

派遣しました」

「FIAデジタルモータースポーツワーキンググループの会議で、審議されるであろう内容は」

「それぞれのFIA選手権(F1, WRC, WTCR, WRX, FE)で採用しているeスポーツ競技を管理するすべてのプロモーターが採用する共通憲章を策定することです。具体的には、リアルコンペティションでもそうですが、競技会の日程とか、開催場所、ただeスポーツの場合は、場所を選ばずオンラインでできるので、場所については言及していませんが、カレンダー、エントリー方法、参加方法、あとゲーム依存、過剰にゲームをやり過ぎるゲーム中毒ですが、これの抑制方法、併せて年齢制限ですね」

「それとデジタルライセンスの管理、プレイヤー規範、いわゆる行動規範、マナーの検討、あと使用されるアクセサリ、オンラインゲームでも、セットでステアリングとか、シートがありま

「具体的には、ステアリングの形状やステアリングにどのようなボタンを配置すればいいのか、画面なども含め検討する必要があります。これが、リアルコンペティションという技術規則、テクニカルレギュレーションというふうにFIAは言っています」

「モータースポーツの場合、実はプロとアマという区別が明確にはないんです。日本ももちろんそうです。プロドライバーと自称する方がいらっしゃいます。規則では明確な定義はないのです。eモータースポーツについても、アマチュア対プロのステータスの管理とか、そういったことも検討する必要があります。最後に賞金、これについてもワーキンググループで話し合っているとします」

JAFも委員会を設置 各国と歩調を合わせて

「FIAで採用するソフトは、グランツーリスモが主体です。」

「具体的にどういうコントラ

クトかは存じ上げませんが、FIAが前面に広報しているものはグランツーリスモです。日本におきましては、昨年12月モータースポーツ振興ワーキンググループという会が最終的な振興策をJAFの矢代隆義会長に答申いたしました。その答申結果に基づいて、昨年9月時点で新たにJAF会長直轄の「モータースポーツ振興委員会」が設置されました」

「トヨタカスタマイジング&ディベロップメント代表取締役社長の稲垣和也氏に委員長に就いていただき、昨年10月に第1回の振興委員会が開催されました。3月に第2回が開催されました。この振興委員会の中でも、国内のeモータースポーツ、これについては当然、検討が始まる予定です。ここでも何らかの施策について検討されると考えます。こちらの動きと併せて、国内では施策を講じていく必要がある。当然、FIAの動きと他のヨーロッパのASNとも歩調を合わせますが、できるだけ早く国内では何らかの形でeモータースポーツを導入、さらにeライセンスについても発給システ



(写真提供: JAF)

ムを早期導入したいということ
で考えています。まずは声を上
げて、連盟内外に対して、eモ
ータースポーツ導入を、宣言して
います」

「eスポーツの普及を進めてい
くJAFの役割は

「リアルスポーツでもそうで
すが、JAFは統轄団体として

競技会を主催するこ
ともできるのですが、
直接主催はたぶんeス
ポーツでもしないと
思います。あくまでも
ガイドラインであつた
り、規則づくりとい
うか、そういったもの
に終始すると思います」

レースだけでなく
マナーや
交通安全の啓発も

「このeスポーツとい
うのは、特に若年層
の人氣が高い。eモ
ータースポーツの普及
浸透によってどんな効
果が期待できるのか。

「ヒントは先ほど
のIOCのバツハ会長
の3原則にあるうか
と思います。まず、年
齢制限を本当にする

必要があるかどうかも含め
てですが、いわゆるスポーツ
という言葉を使う限りは、マナー
であつたり、人を思いやる気持
ちであつたり、スポーツマンシッ
プ、それを通したエテュケーショ
ンが効果としてあるのではない
かと考えます。単なるゲームと
してただ楽しむ、それではやは
りスポーツ、モータースポーツ
としては成り立たないと思いま
す。そこには何らかの、規則と
いうと固いですがマナーであつ
たり、スポーツマンシップを醸
成できるような機会を提供で
きるのではなからうかというこ
とと、また、これはeスポーツな
らではの特徴の一つですが、リ
アルコンベンションと違って、
ケガなどの危険性がないとい
うことですね」

「リアル

「リアルの場合は、やはり事故
があつた場合は、何らかの自傷、
けがをしたり、痛い思いをした
りする可能性があります。この
世界ですと、それがまずない。
安全です。天候状況の影響を全
く受けない。従って、予定が確
実に組めるということですね。
ディスプレイの方たちが
イコールコンディションで一緒

参加できるということは、逆にe
スポーツでしか実現できないの
ではないでしょうか」

「若年層や子どもたちにとつ
て、夢が現実になるという意味
で、夢が広がりますね。

「そうですね。もう一つ、F
Aとして検討を予定している
ゴーストレーシングがありま
す。原寸大のラジコンのイメ
ジですが、eスポーツの世界で運
転する車両が、無人の車両レー
スを行うことも検討するとF
Aは言っています。すでにそうい
う構想をFAは持っているは
ずですから、場合によっては何
らかのお披露目がいずれあるか
もしれません」

「若者が車に興味を持って、リ
アルでも運転したい意識が強ま
り、販売活性化にもつながると
予測できますか。

「リアル、オリジナルが存在
するからこそ、それを模したe
スポーツに興味を惹かれるので
はないでしょうか。現行のモ
ータースポーツの競技形態は実車



一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)
モータースポーツ部 部長
村田 浩一氏 に聞く



2018年JAFモータースポーツ表彰式第三部で余興として行なわれたJAF E-Motorsports Cupで優勝した宮田莉朋選手(左)にトロフィーを渡すJAF・矢代会長 (写真提供: JAF)

両で予選・決勝が完了しますが、近い将来、予選はeスポーツ、決勝はリアルスポーツで、といった複合的な形態になることも考えられますし、実車両の販売活性化につながることを期待しています」

—実際にeスポーツをいろんなところで見ての感想は

「装備品が全く不要で天候も関係ない。非常にアクセスはしやすい。気構えなくそこに台があればスポンと座って、いつでも

どこでもプレイできる。一方でスポーツとして定義する場合はリアルと同じように、アンチドーピングが適用される可能性はあり得ると思います。eスポーツにどこまで適用されるかわかりませんが、たぶん適用されるでしょう」

「あとは、時間の制限なくプレイすることが可能なので、その辺の規制をどうするのか。これは各国のASNも心配しており、2〜3年前に、FIAのアジアパシフィック・スポーツ・コンGRESSで、初めてFIAからグラン

ツーリスモの紹介があったんですが、そこで懸念する声がありました」

「マナーとして広めていくという観点で、子どもたちの飛び出しとか、自転車マナー、高齢者ドライバーの交通事故抑止などのツールとしても期待できる」

「FIAとしても交通安全の啓発になることを期待しています。従ってやり方次第だと思えます。当たっても壊れないし、痛くもないから、対戦して、故意に当てるプレイヤーもいるかもしれません。グランツーリスモの場合は、それをやると一定期間、対戦ゲームができないようにしています」

「オンラインでほかの人と対戦するとき、まず動画でマナーを見せます。絶対前の車にぶつけないこととか、こういうのは駄目とか、ぶつかりそうになったら、自分からコースアウトするぐらいの気

持ちでとか、他車に迷惑を掛けずにはならないというレクチャーを受けてからでないとおんらいンゲームができないようになっていきます。JAFは今後、eスポーツを定義していくとともに、eスポーツがこうしたマナーや交通安全向上に寄与するものとなるよう、FIAと共働して進めていきたいと思えます」

profile

1991年に日本自動車連盟 (JAF) 入社 モータースポーツ局配属、08年にモータースポーツ部スポーツ課長、18年にモータースポーツ部長に就任して現在に至る。FIAの「世界モータースポーツ評議会委員」「デジタルモータースポーツワーキンググループ委員」に就いている。学生時代からバイクを愛好するとともに、ドライバーとして競技に参加した経験を有す。趣味は海釣り。

大型車の車輪脱落は許さない。

大型車に関わる私たちプロの使命です。



重大事故を未然に防ごう!

タイヤ・ホイールは、しっかり点検、正しく整備。



<p>1</p> <p>規定のトルクで 確実な締付けを</p>	<p>2</p> <p>50~100km 走行後はしっかり 増し締めを</p>	<p>3</p> <p>一日一回の 日常点検を</p> <p>とくに、気が付きにくい 左後輪は、重点的に点検を!</p>	<p>4</p> <p>ホイールに 適合した ボルト、ナットを</p>
--	--	---	--

車輪脱落を防ぐ4つのポイント

詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ

▶ http://www.jama.or.jp/user/fall_off_wheel/car/index.html

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



アジア最大級のキャンピングカー祭典

商用バンの改造車をはじめ 各種タイプが勢揃い

アジア最大級のキャンピングカーの祭典「ジャパンキャンピングカーショー2019」が2月1~3日の3日間、千葉市美浜区の幕張メッセで開催されました。商用バンを改造した「バンコンバージョン(バンコン)」、トラックなどをベースにキャビン部分を取り付けた「キャブコンバージョン(キャブコン)」といった定番モデルから、軽自動車を中心に軽キャンピングカー、車内はキャンピングカーだが外観はノーマルといったミニバンなど、幅広いキャンピングカーが展示されました。また、新型車を使ったキャンピングカーも出展され、多くの来場者の注目を集めていました。



用品販売

■「ハイエース」 「キャラバン」 が定番

トヨタ自動車
「ハイエース」、日産自動車「キャラバン」をベースにしたバンコンは、キャンピングカーの定番中の定番です。広大な荷室を活用できるだけでなく、全幅の広いワイド車、車高の高いハイルーフ車など乗用車にはない設定があることから、多種多様なユーザーニーズに対応する架装を装着できるのが特徴と言えます。

■「エルフ」など キャブコンも多い

もう一つの定番モデルがキャブコンです。今回のショーでは、いすゞ自動車の小型トラック「エルフ」、トヨタ「カムロード」などを使ったキャンピングカーが展示されました。キャブ付きシャシーにキャンビンを搭載するもので、ピルターごとの特徴のあるキャンピングカーが選べる楽しさがあります。

トヨタ「ハイエース」(トイファクトリー)



■本格仕様になるバスコン

さらに本格仕様となるのがマイクロバスなどをベースにするバスコンバージョン(バスコン)です。広い居住性を確保しながら普通免許で運転できる

日産「セレナ」(日産ピースフィールドクラフト)



ため底堅い人気があります。ショーでは日野自動車「リエッツセII」などを架装した車両が展示されました。三菱ふそうトラック・バス「ローザ」のボディに改良を加えたセミフルコン



3日間合計で6万7848人が来場

三菱「アウトランダーPHEV」(西尾張三菱自動車販売)



ホンダ「フリード」(ホワイトハウス)



スズキ「ジムニー」(スマイルファクトリー)



バージョン(セミフルコン)車も登場しました。

■注目の
軽キャンピングカー

近年、人気が高まっているのが軽キャンピングカーです。今回のショーでもダイハツ工業「ハイゼット」などトラックを

ベースにしたモデルや、ホンダ「N-BOX」といった車内が広いスーパーハイト系ワゴンを活用したキャンピングカーが目立ちました。

外観は標準車、車内はキャンピングカーといったモデルの需要が高まっているのも近年の特徴です。普段使いとキャンピングカーとしての機能を両立でき、トヨタ「ヴォクシー」や日産「セレナ」といったミニバン、トヨタ「シエンタ」、ホンダ「フリード」といったコンパクトカーを車中泊仕様にしたモデルには、子供連れのファミリー層からも注目を集めています。

■「ジムニー」の
キャンピングカー

また、今回のショーではスズキ「ジムニー」のキャンピングカーも登場。前席から後席までフルフラットになるベッドキットを提案しています。また、三菱自動車のSUV「アウトランダーPHEV」は給電機能も備えたキャンピングカーとして新しい付加価値を訴求しました。

出場国はブラジル(世界ランキング1位)、トルコ(同2位)、日本(同4位)、アメリカ(同6位)
※ランキングは2018年12月31日現在

画部会・WG 位三十年記念 ルボール競技大会」観戦

大会支援の一環で、日本自動車工業会の企画部市の千葉ポートアリーナで「2019ジャパンパ応援しました。自工会は障がい者スポーツ支援います。今回はパラリンピックの正式種目であるで、ここでの体験や感動を自動車業界をはじめ、



日本チームは予選リーグ初戦でブラジルを破りました

WGの22人が予選リーグ観戦



ゴールボール競技大会を観戦した企画部会WG

■視覚障がい者向けの 対戦型スポーツ

ゴールボールは、視覚障がいをもつ人のために考案された対戦型スポーツ。1チーム3選手がアイシールド(目隠し)を着用し、鈴の入ったボールをルールに沿って投げ合い、相手チームのゴールを目指します。コートは6人制バレーボールとほぼ同じ。選手たちはボールの鈴の音だけを頼りに競い合うため、観客はプレーの妨げにならないよう、静かに応援しなければなりません。静まり返ったなかでの戦いはまさに「静寂の競技」とも言われます。それだけにゴールが決まった瞬間には、たくさんの歓声や拍手が選手たちに送られます。

■迫力と技に感動

参加の企画部会WGメンバーは初観戦者も多く、豊富な投球フォームや競技の駆け引き、洗練されたチームプレーなど、想像以上の迫力と技に魅了されていました。日本チームだけではなく、各チームの優れたプレーや健闘ぶりにも惜しみない拍手と歓声を送っていました。

■ソフトレガシー活動の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック

今回は日本、アメリカ、トルコ、ブラジルで競い合い、日本は決勝トーナメント・決勝戦でトルコに惜しくも敗れましたが、準優勝に輝きました。



日本チームは準優勝

自工会企 「天皇陛下御在 2019ジャパンパラゴー

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会・ワーキンググループ(WG)は2月1日、千葉ラゴールボール競技大会」の予選リーグを観戦・を目的とするソフトレガシー活動に取り組んで「ゴールボール」を知ることを目的にした観戦世間に広く伝えることにしています。

企画部会



大会観戦者の
コメント

日野自動車 渉外広報部 石井 一弥氏

今回応援に参加したことで、ゴールボールという競技の存在を初めて知りました。同僚・友人・家族等周りの人にロコミで広めていきたいと思っています。

本田技研工業 渉外部 渡邊 暁子氏

ゴールボールはまさに、「静寂の中の熱い戦い」です。選手の皆さんが集中力を高め、感覚を研ぎ澄ませて、あたかもボールが見えているかのような機敏な反応をされていて驚きました。鉄壁な守備の中でも、フェイントやペナルティなどで試合が大きく動くこともあり、詳しいルールが分かってくれば、いっそう楽しめる奥の深い競技だと感じました。

マツダ 渉外調査部 西嶋 宏氏

視覚障がい者である選手の皆さんが、ボールの中の鈴の音やボールが地面を跳ねる音、チーム・メンバーの掛け声だけを頼りにしながらも自由自在にプレイされる姿を見てある種の感動を覚えました。本番のオリパラでも是非、ゴールボール競技を観に行きたい、そして日本チームだけではなく、障がいをもった選手全員を応援していきたいと思っています。



ゴール前のボール死守は迫力満点です

競技大会まであと約1年半。自工会企画部会WGでは本年は自工会という枠をこえて、自動車業界を巻き込みながら活動を盛り上げていきたいと考えています。

デジタル エンジニアリング セミナー 2019 (2月15日開催)



今回で13回目の開催となりました

電子情報の標準化に向け 部会活動への参加呼びかけ

日本自動車工業会（JAMA）の電子情報委員会デジタルエンジニアリング部会は2月15日、都内で「JAMAデジタルエンジニアリングセミナー2019」を開催しました。同部会は、車両開発や生産の効率化に貢献するエンジニアリング分野での電子情報の標準化を推進しています。セミナーでは部会の活動成果や今後の取り組みを紹介し、幅広い企業に部会活動への参加を呼び掛けています。



伊井野政宏部会長



3 図面 JIS 化検討タスクリーダー 島田宏美氏

■現場での情報活用

近年、CAD（コンピュータ設計支援）やシミュレーションの利用拡大によって、車両や部品設計で3D図面が主流となるなど、開発や生産現場でのデジタル化は加速しています。同部会は、こういったエンジニアリング現場でのデジタル情報の活用拡大に貢献する活動を展開しています。セミナーではまず伊井野政宏部会長が2017年～19年の中期活動計画として、3Dデジタル情報の活用拡大に向けた「DTPD規格開発、JIS化推進、ISO開発」や「同一性検証ツールの実用性確認」などを掲げていることを説明しました。

■国際規格に関して

なかでも今回のセミナーで

ニュースとして取り上げたのが、18年12月に発行された製品データの同一性検証に関する国際規格（ISO10303-62）です。開発プロセスでデータ交換は必須。交換のその効率化のためには、交換後のデータ保障や同一性検証が求められます。

■活用に向けたガイドライン作成

同部会では交換後のデータの再現性、再利用性の保証や、交換トラブルで発生する作業ロスの解消につながる地盤提供に向けて活動しています。ISOの発行によって、ツールの機能実装の充実に期待される中、今後は同一性検証ツール活用に向けたガイドラインを作成していくことなどが活動計画の一つとして紹介されました。

また、日本自動車部品工業会・デジタルエンジニアリング促進部会の大島昭宏部会長やTC184/SC4推進協議会の座間宏一議長による招待講演も実施しました。

当日の資料は自工会HP（www.jama.or.jp/it/event/jam2019/report/index.htm）よりダウンロード可能です。

あなたの安全運転とクルマの先進安全装備は

＼セットでどうぞ！／



※ASV (Advanced Safety Vehicle) とは先進安全自動車のことです。

先進安全装備は、あなたの安全運転を支援するシステムです。
機能を正しく理解し、過信せず、安全運転を心がけましょう。



衝突被害軽減ブレーキ

クルマが障害物を感知して、警告やブレーキの補助動作を行います。



定速走行・車間距離制御装置

前方のクルマとの車間距離を保ちながら追従走行して運転をサポートします。



車線逸脱警報

車線をはみ出しそうになった時、警告音等で正しい位置に戻ることを促します。



後側方接近車両警報

死角になる斜め後方のクルマを検知し、危険を知らせます。



自動切替型前照灯

夜間走行時、対向車等の有無を検知しハイ／ロービームを自動で切り替えます。



ペダル踏み間違い時加速抑制装置

車両等の有無を検知し、誤ってアクセルを踏み込んだ際の急加速を防止します。



衝突被害軽減ブレーキ等を備えた「安全運転サポート車（サポカー）」の普及・啓発に取り組んでいます。

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館
[安全運転講座ページ] <http://www.anzen-unten.com>



平成30年度 安全優良職長厚生労働大臣顕彰

厚生労働省では、全国の建設業・製造業に従事する職長*の中から、優れた技能と経験を持ち、担当する現場の安全確保に優良な成績を挙げた者を、「安全優良職長」として顕彰しています。

この制度は、職長の安全管理に対する意識を高めるとともに、顕彰受賞者を核とした労働者全体の安全意識の高揚を図る事を目的として、平成10年度より実施されているものです。

平成30年度は、日本自動車工業会より以下の2名の方を推薦し受賞が決定しました。

田邊 英男氏

(ダイハツ工業株式会社 多田エンジニアリングセンター 主任兼職長)

河野 哲氏

(トヨタ自動車株式会社 貞宝工場 工長)



顕彰式典は、1月11日に厚生労働省講堂にて執り行われました。

(出典:厚生労働省)

*職長とは、事業場で部下の作業員を直接指揮監督し、作業の安全確保・遂行に責任を持ち、第一線において「安全」を実現する監督者のことで、班長、作業長などとも呼ばれ、「安全のキーパーソン」と言われています。

●顕彰基準

- (1) 職長等としての実務経験が10年以上であり、現在も当該職務に就いていること。
- (2) 職長等として担当した現場又は部署において、遡って過去5年以上、休業4日以上災害が発生していないこと。
- (3) 職務に必要な資格を有するとともに、能力向上教育等の各種安全衛生教育を十分に受講し、安全管理、作業指揮等の能力が優秀であると認められていること。
- (4) 安全管理に関する部下の指導教育又は安全管理に関する知識・技能の普及や継承について積極的に活動していること。

平成31年度

**「道路ふれあい月間」
推進標語を募集します!!**

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、平成31年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない重要な公共施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その役割や重要性が見過ごされがちです。そこで、この推進標語の募集を通じて、道路の役割や重要性を改めて認識していただくことを目的としています。

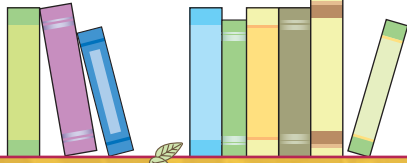
多くの方々からのたくさんのご応募をお待ちしております。

募集要領

募集テーマ	道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、次世代に受け継いでいきましょう。
応募資格	小学生以上の方から応募できます。
応募方法 (1人何作品でも応募できます。)	はがきによる応募の場合 はがきに、標語と必要事項〔氏名、フリガナ、住所、電話番号、性別、年齢、学校名(学生の場合)、応募部門の別〕及びアンケート(何を見て応募したのか(回答は任意です))を記載のうえ、郵送してください。 郵送先: 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて
	電子メールによる応募の場合 1. メール本文に、標語と必要事項〔氏名、住所、電話番号、性別、年齢、学校名(学生の場合)、応募部門の別〕及びアンケート(何を見て応募したのか(回答は任意です))を記載のうえ、 hqt-dourofureaigekkan@gxb.mlit.go.jp に送信してください。 ※上記アドレスからの受信ができるように設定してください。 2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。 ※Microsoft Office Excel97以降のソフトが使用できる環境にあること。
	小学校・中学校単位での応募の場合(学年・クラス単位含む) 1. 作品をとりまとめのうえ、封書にて郵送してください。学校名及び学校所在地での応募が可能です(但し、応募作品ごとに、氏名、性別、年齢を明示してください)。 2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。 ※Microsoft Office Excel97以降のソフトが使用できる環境にあること。 ※その他のファイル(Word、一太郎など)でも受け付けます。
応募期間	平成31年3月13日(水)まで(当日必着)
入賞作品の発表・使用	入賞作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。
応募部門・賞	【小学生の部】最優秀賞1作品、優秀賞2作品 【中学生の部】最優秀賞1作品、優秀賞2作品 【一般の部(高校生以上)】最優秀賞1作品、優秀賞2作品
表彰	「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から賞状及び楯を贈呈いたします。
その他	●応募作品の返却は致しません。 ●入賞作品の著作権は主催者に帰属します。 ●本募集で取得した個人情報、入賞の作品の連絡・発表、表彰式のご案内にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。
主催	国土交通省
お問い合わせ先	国土交通省道路局道路交通管理課 総務係 細村・牧内 (代表) 03-5253-8111 (内線) 37423・37424 (mail) hqt-dourofureaigekkan@gxb.mlit.go.jp

- 最優秀賞(小学生の部) 「きらきらの この道ずっと まもろうよ」
- 最優秀賞(中学生の部) 「踏み出そう 夢を広げる 今日の道」
- 最優秀賞(一般の部) 「成長の 足跡残して 歩く道」

平成30年度推進標語



CAR Manufacturer 自動車博物館 関連施設 紹介シリーズ



日産自動車／日産ヘリテージコレクション

日産ヘリテージコレクションは、日産自動車が今までに生産してきたクルマ、技術力、デザイン力の全てが詰まったまさにNISSAN DNAそのものです。これまでに日産自動車が長きにわたり生み出してきたクルマは一台一台が、日産の大切な

宝物です。そのなかでも、現行車につながるものや技術的革新をもたらしたもの、モータースポーツで活躍したものの、歴史上エポックメイキングなものなどをはじめとする記念車を、日産の歴史を物語る貴重な財産として大切に保管しています。

展示車両 所蔵車両

1930年代の生産車からはじまり、歴代のレースカーまで、日産のオンロード、オフロード両面の歴史を物語る車両など、総勢約400台の記念車を所蔵。うち常時約300台を展示しています。市販の名車に加え、モータースポーツで優秀な成績を収めた車両や、東京オリンピックで聖火を運んだ車両、世界初・日本初の技術や話題性の高いモデルなども保管しています。所属車両の約70%は走行可能な状態を維持させ、クルマの心臓であるエンジンもいつでもかかる状態に整備しております。



施設概要

展示台数：約300台
展示スペース：約5,600㎡
「日産ヘリテージコレクション」は座間事業所敷地内に位置。座間事業所では、新型車の集中試作、プレス金型および車体生産設備の設計・製作と電気自動車に搭載するモーターインバーターの開発・生産を行っています。



見学案内

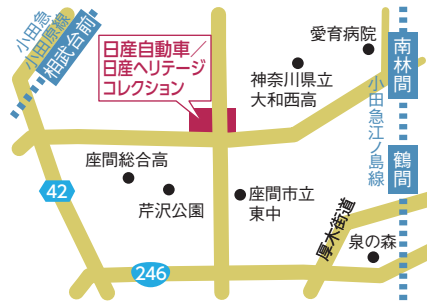
見学プログラムは、日産の歴史を物語る貴重なコレクションをご堪能いただけるものとなっております。

見学実施日

見学はウェブサイト (<https://nissan-heritage-collection.com>) から事前予約。
【見学時間】10:00～12:00 40名様まで／14:00～16:00 40名様まで
【見学対象】中学生以下のお子さまの見学には、保護者の方の引率をお願いいたします。

見学内容

【見学テーマ】日産の80年の歴史・日産の技術の歴史・日産のデザインの歴史
(※各テーマの実施日・時間はウェブサイトのお申し込み画面のカレンダーをご覧ください)



お問い合わせ先

日産自動車株式会社 座間事業所 座間統括課
電話：046-298-4355 FAX：046-252-3485

住所：神奈川県座間市広野台2丁目10-1
受付時間：月～金 10:00～16:00 (12:30～13:30を除く)

携帯電話・スマートフォンでQRコードを読み取ると、詳細な地図をご覧ください。





産経新聞社

たかはし かんじ
高橋 寛次

あの頃の悪夢と大発見…………

⊙ハンドブレーキを解除、慌ててクラッチを操作するが失敗。坂道に停車していた車は、エンストして後方に下がり始める。おそらく誰にでも、忘れたくても忘れられない嫌な感触というものがあるのではないか。私にとってその一つは約20年前、教習所で坂道発進に挑戦した時の記憶だ。

⊙何しろ、車の知識も挙動についての感覚もほぼゼロ。ウィンカーは、曲がった後に自動で点灯するものだと思っていた（それではもちろん役に立たない）。人生のある時点まで、不思議なほど車と縁がなかった。もしも昔の自分が「将来、自動車業界の取材をすることになるよ」と教えられたら、仰天したに違いない。

⊙無知の`起源、は、育った家が北海道なのに、車がなかったことに遡る。周囲にそう話すと驚かれ、理由を聞かれるが、もともとなかったのだから、それが当然だと思っていただけだ。高3になると、友人が次々と運転免許を取得し出したが、「自分も」という発想にはならない。大学に入学して東京暮らしをすると、車の必要性も感じず、そのまま就職することになった。

⊙他の仕事に就けば、生涯免許を取らなかったかもしれない。しかし、車と無縁な生活は、新聞社に入社したことで終わる。最初に配属される支局での仕事は刑事事件や地方行政の取材で、車に乗れなければ話にならない。入社するとすぐに初任地である栃木県宇都宮市近郊の教習所の宿舎に放り込まれた。坂道発進だけでなく、クランクには乗り上げる、修

了検定には2回落ちるなど、当然のように苦労した。「オートマチック限定免許にしたい」と上司に泣きを入れたが、支局の駐車場は他社と共同使用で、他人の車を動かす必要性もあり、却下された。

⊙何とか免許を取り、配備されていたスバル「レガシィ ツーリングワゴン」で仕事を始めたが、公道ではさらに多くの試練が待ち構えていた。同じような景色の場所が続く工業団地の中で迷ったり、警察署の駐車場で駐車中の車に接触したりした。後年、経済部で高性能カーナビや、駐車支援機能搭載車を取材すると、「あの頃これがあれば…」と歯がみしてしまった。

⊙だが、仕事で毎日車を使っていると、さすがに慣れてくる。半年から1年後、思いがけないことが起きた。問題なく車を走らせ、駐車もできるようになると、急に車の魅力に気づいたのだ。言わずもがなだが、車を操れば理論上、いつでも、どこにでも行ける。移動に関する身体能力が大幅に拡張されたような感覚だった。駅やバス停の場所、運行時間などの制約がある公共交通機関に長年、頼ってきただけに、かえて車の有用性、自由度の大きさを`発見、できた気がする。

⊙初めて買った愛車は中古の「ミラージュ」（三菱自動車）。その後、東京や大阪で勤務しても基本的に車を保有してきた。車の魅力に気づいた日の新鮮な気持ちを忘れず、自動車業界を取材していきたいと思う。たとえば坂道発進の`悪夢、とセットだとしても……………



世界が注目する
日本のモータースポーツを
お台場にも
観に行こう



MOTOR SPORT JAPAN 2019

Festival in Odaiba

4/6 [土] 7 [日]

2 days Gate Open 9:00 2 days Closing Time 17:00

入場
無料

TOYOTA NISSAN HONDA



りんかい線
東京テレポート駅
徒歩7分

主催: NPO法人 日本モータースポーツ推進機構 共催: 臨海副都心まちづくり協議会
後援: 東京都 / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) / 一般社団法人日本自動車工業会 (JAMA)
一般社団法人日本自動車販売協会連合会 / 公益社団法人 自動車技術会

ゆりかもめ
船の科学館駅
徒歩2分

ご来場は公共交通機関をご利用ください

最新情報は公式ホームページから >>> www.motorsport-japan.com/msjf

モータースポーツジャパン で 検索